

## 平成20年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	産学官連携によるWeb2.0アドミニストレーター養成プログラムの開発		
法人名	学校法人コア学園		
学校名	唐津ビジネスカレッジ		
代表者	理事長 門田 章	担当者 連絡先	木原 厚二 TEL(0955)77-1771

### 1. 事業の概要

本事業は専修学校と産学官が連携し、中小企業の自社ブランド商品等をWebの最新技術を活用し、いかに構築し、いかに売るかを講義と実践を通し、Webアドミニストレーターを養成する人材育成プログラムの開発を行なう。また、実証講座を実施し、人材育成プログラムの有効性を実証する。

### 2. 事業の評価に関する項目

#### ①目的・重点事項の達成状況

##### (1)資格取得

実証講座「Web2.0アドミニストレーター養成講座」は学力達成レベルのマイルストーンとして資格取得試験を実施した。このことで受講者8名は意欲的に資格取得にチャレンジし、Webクリエイター能力認定試験上級受験7名合格7名(全員合格)、ビジネス能力検定2級受験7名合格4名、Photoshop能力認定試験3級受験7名合格4名、果敢に資格取得に挑みながらIT・ビジネスの技能を身に付け、修了生7名全員が有資格者となる。

##### (2)地域振興

11/11本実証講座「Web2.0アドミニストレーター養成講座」のプロジェクト科目(プロフェッショナルの講座と質疑応答)の様子は唐津新聞Web「びびっとからつ」に掲載された。

1/30成果発表会では唐津ケーブルテレビジョンの取材があり、当日夕方からニュース放映された。また、成果発表会は佐賀県、佐賀県専修学校各種学校連合会、唐津市、唐津市議会、唐津商工会議所、唐津観光協会、唐津中央商店街、唐津市旅館組合、唐津市魚市場の団体、通販・IT企業・報道関係者(約30名)の方々を前に成果発表・報告会を行った。つづいて、2/7出雲コンピュータ専門学校(斐川・出雲地区)で成果報告会を実施し、地域への振興を図った。

##### (3)進路(就職)

修了生7名中、就職状況は、3名が内定、4名が就職活動中、内1名はアルバイト継続中である。また、成果発表後、旅館組合からWeb作成の相談やIT企業からの求人が数件寄せられ、弊校は進路相談を継続し、修了生の就職相談やWeb作成の相談に対応している。修了生は各自順調に自分の道を歩みだした。

## ②事業により得られた成果

産学官が一体になり実施委員会を立ち上げ、そして分科会が実行部隊となり、教育プログラムの開発から実証講座の応募・実施・成果発表までを振り返ると初期の目的が果たされたものとする。受講生の資格取得と卒業研究を通じ、短期に効率的に指導できたのは、受講生の意欲の高さもさることながら、「産・学・官」の総合的な指導によるところが大きい。勿論、ITの技術の習得のための指導を基盤に据え、現場の第一線で活躍されている生の声を聴きながら、ディスカッションを行う方法。また、受講生一人一人が卒業研究のテーマを決め、一ヶ月を掛け卒業制作を行うまで、お店(または神社)の主人と交渉にはじまり、店のアピールポイント(商品、こだわり、価値観、歴史的背景)を取材し、イメージするまでのプロセス、締めくくりとして関係者を前にプレゼンテーションを行う「実践力を養う」方法によるところが大きい。

特筆すべきは、今回の講座に対し、行政・商工関係者・観光関係者・まちづくり関係者等各位の総合的な指導や卒業制作の題材の提供など、絶大なるご支援とご鞭撻を頂き、まさに「産・学・官」一体となった《人材育成》に取り組む事が出来た事と思う。

<卒業作品>

「ママ友と子供達と行けるお店 唐津mama & kids do Lunch」<http://www.core.ac.jp/kaca/kojima/>

「唐津市湊町にある、疫払い神社 湊疫神宮」<http://www.core.ac.jp/kaca/minatoyaku/>

「唐津市町田にある、おしゃれな美容室PiECE」<http://www.core.ac.jp/kaca/piece/>

「呼子のお洒落な洋食BAR VESPER」<http://www.core.ac.jp/kaca/vesper/>

「唐津で初めての留学センター アルファ」<http://www8.ocn.ne.jp/~funi.n/alpha/index.html>

「唐津の和菓子の老舗 開花堂」<http://www.core.ac.jp/kaca/kaikado/>

## ③今後の活用

今後については、唐津市においても経済環境の悪化で雇用状況は厳しくなるばかりである。雇用対策の一つとしてこの教育プログラムを自治体、商工会議所に提案し、講座を実施することで、多くの中小企業がWebを立ち上げることにより、若者の雇用の場を創造できる可能性があると考えられる。また、平成22年度に向け本科情報専攻科や総合ビジネス科に、当育成プログラムをカリキュラムに加え活用したい。本校は今回の教育プログラムが、全国で先駆けとなるよう普及・振興に務め、役立たせて行きたい。

## ④次年度以降における課題・展開

これからも人材育成を通じ、若者が将来の目標を持ち、再就職や起業家また新たに進学を目指す場を提供し、社会に貢献できる人を育てることは使命だと感じている。課題としては、急速な経済環境の中で、再就職を考えると厚生労働省の薦めるジョブカードの活用や、ICTを人材育成の基盤として、介護と農業をテーマに取り組み、国の雇用施策と連携して推進して行きたい。高齢化と農業立国佐賀県の地域性を活かし、若者の雇用意識のアンマッチを学習と実習を通じた人材育成で、かなり回避できるチャンスと考えている。そのためには、地元住民・企業・団体と国・自治体が連携し、若い人が活躍できる雇用の場(事業)を創造し、地域みんなが支え、地元ですっかりと人材育成することが必要である。弊校はこれからもICTのわかる各分野のエキスパートを育てるような、教育プログラム作りにチャレンジし、他校に先駆けてモデル校となるような成果を出して行きたい。

## 3. 事業の実施に関する項目

### ①履修証明書等

今回の実証講座を修了した受講生7名には、弊社独自の講座修了証書を授与した。また、講座が資格取得や卒業制作などかなり詰め込んだ時間割のため、企業実習に時間が割けなかった。このため、ジョブカードを活用することが出来なかった。

## ②カリキュラムの内容

実施委員会を中心に、開発分科会が主体に、ニーズ調査で得られた結果から、以下の様な再就職に有効なWebアドミニストレーター養成の人材育成プログラムを開発する。

### 1) 短期教育カリキュラム、シラバスの作成

科目は以下の通りであり、シラバスを作成し、科目毎の目標を設定し、適切な時間を設定する。

①専門科目: Web初級からWeb2.0、CG技術、Flash技術、ネットワーク、PowerPoint。

②一般科目: ビジネス能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、就職対策・指導(キャリアコンサルタント等)。

③実務専門科目: プライバシーポリシー、コンプライアンス、UML (Unified Modeling Language)、SLA (Service Level Agreement)

④プロジェクト科目: 現場の第一線で活躍されている方(産学官)が参加し、販売企画、マーケティング、WebデザインからWebの構築、運用・保守、商品のブランド化、SEO (Search Engine Optimization)、SEM (Search Engine Marketing) についての実務

⑤卒業研究: 総仕上げに、実際の販売店をモデルにWebを作成し、その成果を発表する。

⑥キャリアカウンセリング: 自己分析表の作成とこの自己分析結果を元に、1名の経験者が講座前半と後半にキャリアカウンセリングを4回程度行う。これにより、個人個人の自己啓発目標と就職目標を明確にし、目標達成に導く。

### 2) 資格試験

シラバスの目標までのマイルストーンとして、以下の資格取得を目指す試験を設定する。

・専門科目: Webクリエイター能力認定試験上級、Photoshop能力認定試験3級

・一般科目: ビジネス能力検定試験

### 3) 講師、教材、時間割

上記、科目に対し、適切な教材選択、専門の講師を選出し、時間割を設定する。

### 4) 成果物

・資格取得状況報告書、調査資料報告書、成果発表時の評価報告書、研究成果(Web、発表資料)

## ③講座の実施

実施委員会と実証教育分科会が中心となり、開発教育委員会で開発した教育プログラムを元に、以下の実証講座を実施した。

①テーマ Web2.0アドミニストレーター養成講座

②期間 平成20年9月4日から平成21年1月30日まで9:00～16:00 (土・日・祝日は休み)

③応募者16名、選考結果 受講生 8名(修了7名)選抜 19歳から32歳までの女性2名、男性6名

④内容 学科(100時間)、実技(470時間)

・専門科目(335H)、コミュニケーション(日本語)(32H)、ホスピタリティ(6H)、テーマ研究・卒業研究(117H)、ビジネス能力(30H)、プロジェクト科目(17H)、カウンセリング(12H)、就職対策(18H)、その他(3H)

⑤資格取得 Webクリエイター能力認定試験上級受験7名合格7名(全員合格)、ビジネス能力検定2級受験7名合格4名、Photoshop能力認定試験3級受験7名合格4名

受講者の反応(アンケート調査、感想文より)は総じて満足し、5ヶ月が長いようで短く、充実していたと振り返る。また、この講座を受講して、資格を取得した時の充実感、成果発表したときの達成感。仲間と助け合った経験、先生からの個別指導を何よりも感謝を表わしている。

## ④支援対象者(受講者)の状況

修了生7名の就職状況は、1名が内定、6名が就職活動中で、内2名はアルバイト継続中である。また、成果発表(受講修了)後、旅館組合からWeb作成の相談やIT企業からの求人が数件寄せられ、弊校は進路相談を継続し、修了生の就職相談やWeb作成の相談に対応している。修了生は各自順調に自分の道を歩みだした。